

神崎愛三さんは、新大町の「れすとらん三愛亭」6代目亭主。「すしおじちゃん」の愛称で知られる料理人だ。1973年から2003年までの30年間、山目の児童養護施設「一関藤の園」へ寿司を奉仕してきた。その数のべ3,100食以上。

転機は、藤の園へ保育実習に行った妹・富紀子さんの「施設の子供たちに寿司を握ってご馳走したらどうかな」の一言。当時、聞きなれなかった児童養護施設という言葉から、親のそばで何不自由なく甘えられる居場所があった子供の頃を思い返し、いてもたってもいられなくなった。実行したのは「母の日」。定番の贈り物であるカーネーションの花言葉「愛情」をプレゼントしたいと思い、この日に決めた。

目の前で寿司づくりを実演すると、子供たちは興味津津。用意した100食分の寿司はあっという間になくなった。童謡と一緒に歌ったり、好きなカンツォーネ（イタリア民謡）を披露したりするなど愛三さん自身も子供たちとの交流を楽しんだ。

児童と職員分の寿司ネタを用意し、米を一斗炊く。いくらでも支援したい気持ちはあったが、経済的負担は大きく、2、3年でやめようと思っていた。だが、帰り際、「おじちゃん来年もまた来てね」と声を掛けられた。瞳を輝かせる子供たちを前に「うん、必ずまた来るよ」と答えた。約束は30年続いた。

奉仕するすしおじちゃんはテレビや新聞で報道され、全国から称賛の声が寄せられた。同時に「児童養護施設」の認知度も上がり、支援の輪が広

「愛」にあふれる「三」三十年
寿司が生み出す子供たちの笑顔



児童養護施設に30年間寿司を奉仕し続けた「すしおじちゃん」

神崎愛三さん

Kanzaki Aizo 72 新大町

がった。92年には(株)日本善行会から「不遇な人のために社会福祉に尽くした」と表彰された。30年間、続けてこれたのは「家内(エミさん)と従業員の支えがあったから」と感謝の気持ちを忘れない。また、互いに刺激し合いながら、地域をけん引してきた「仲間」の存在が大きいとも。

「商売以外にも地域のためにできる

ことはある」。これまで寄せられたお礼の手紙を眺めながら「自然体で社会奉仕できる情熱ある人が増えるといいな」とつぶやく。

昨年、一関藤の園は設園50周年を迎え、新たな歴史の一步を歩み始めた。愛三さんは、子供たちと共に歌った童謡を口ずさみながら「次の夢は声楽家」と笑った。

Profile 1940年生まれ。児童養護施設「一関藤の園」に寿司を奉仕し続けた「すしおじちゃん」。(株)角屋・三愛ビル代表取締役、れすとらん「三愛亭」亭主、(株)岩手県調理師会上級講師、一関新大町商店会長。新大町在住、72歳



「愛三」の名は縁あって新宿「中村屋」の創業者・相馬愛蔵から直々に受け継いだという。その名のおり愛三さんの周りには「愛」がさんさんと降り注ぐ。写真は子供たちからの感謝の気持ちがつづられた手紙

CONTENTS 4月の目次

- 02 **一関の四季彩**
藤沢中学校卒業式
- 03 **「愛」な人 いちのせきを愛する人**
神崎愛三さん 新大町
- 04 **特集1 あの日から2年 復興の光**
- 12 **市役所からのお知らせ**
骨寺村荘園交流館展示棟がオープン ほか
- 14 **特集2 流行するインフルエンザの感染を予防**
- 16 **まちのトピックス**
一関・道の駅蔵美溪で「一歳児歩き初め会」/花泉総合福祉センターで「大根コン健康体操教室」/大東高情報ビジネス科「キャリア教育成果発表会」/JR千厩駅を発着点に「駅からハイキング」/東山地域の年長児合同遠足「いちご狩り遠足」/室根で国際医療福祉専門学校一関校卒業式/川崎・砂鉄川で「砂鉄川桜ロード」事業/藤沢で「一関市藤沢町60歳同年の集い」
- 18 **市民の広場**
笑顔でGood(千佐咲恵) / キッズ写真館 / ふれーふれークラブ(花泉中吹奏楽部) / ウチのこ自慢 / 図書館だより(川崎図書館)
- 20 **4月の健康コーナー**
健康情報 / 健康塾(千田隆一) / 元気のひみつ(五日市道子)
- 22 **4月のお知らせ**
文化財探訪 / 博物館だより / 一関文化センター催し物案内 / 掲示板 / 市営住宅など入居案内 / 募集 / 催し / 講座 / 相談 / お知らせ
- 28 **百年目の寿**
佐藤ハツエさん / 千葉イサヲさん / 小笠原キヨシさん / 那須正四さん / 藤井つるさん / 鈴木トヨミさん / 安倍みつさん
- 29 **COMMENDATION**
千葉浩一さん 藤沢町黄海
- 30 **NEWS HOTLINE**
大東町のドリームキッズがCD制作に参加 / どっから座公演「黄金の花咲く里 大蛇の恋物語」 / 硬式野球「一関リトルシニア」が団員募集 / 藤沢市民劇場「保呂羽神社奇譚 白雉子翔んで」
- 32 **わたしの夢**
伊東辰巳さん 摺沢小6年



一関の四季彩

弥生の風景

平成24年度藤沢中学校卒業式

15の春、感謝を込めて最後のハーモニー響かせる

市内の中学校で卒業式が行われた。卒業生は中学生生活3年間の思い出を胸に、共に過ごした学びやを後にした。このうち藤沢中学校(田口秀樹校長、生徒219人)卒業式は3月13日に行われ、保護者、在校生、教職員や来賓が見守る中、76人(男子34人、女子42人)が卒業した。式では国歌斉唱に続いて卒業証書の授与が行われ、田口校長から卒業生一人一人に卒業証書が手渡された。式辞に立った田口校長は「東日本大震災の時に

1年生だった君たちが、そろって晴れの日を迎えることができ、感謝の気持ちを込めて最後のハーモニーを響かせた。式では同校自慢の合唱も披露され、生徒たちは家族、仲間、後輩、教職員や地域の人たちに感謝を込めて最後のハーモニーを響かせた。

岩手県一関市
Ichinoseki City



東北のほぼ中心、盛岡市と仙台市の中間にある一関市は古くから岩手県南、宮城県北エリアの中核を担ってきました。2005年9月20日に一関市、花泉町、大東町、千厩町、東山町、室根村、川崎村の7市町村が合併。11年9月26日には藤沢町と合併し、「人と人、地域と地域」が結び合い、未来輝く「いちのせき」を目指して確かな歩みを進めています。

DATA ■面積 1,256.25km² ■人口 127,284人(男61,505人、女65,779人) ■世帯数 46,031戸 ■市花 なのはな ■市木 ぶな ■市鳥 うぐいす (以上2013年3月1日現在)